

平成 29 年度
高浜市当初予算の概要



平成 29 年 4 月
高浜市総務部財務グループ



目 次

1	基本的な考え方	1
2	予算規模	2
3	歳入の状況（一般会計）	3
4	歳出の状況（一般会計）	5
5	市債の状況（借入・返済額と現在高）	7
6	基金（貯金）の状況	9

巻末資料

(1)	広報たかはま（4月1日号） 「平成29年度当初予算の概要」	13
(2)	主要・新規事業一覧	16

1 基本的な考え方

本市は、平成28年度に「普通交付税不交付団体」となり、今後は、市税などの自主財源を基本として、より自立度の高い財政運営が求められる。また、将来を見据えると、公共施設の老朽化対策や社会保障費の増大が見込まれ、将来にわたる安定した財政基盤の確立が欠かせない。

このような状況の下、将来の世代にこの素晴らしい高浜市を引き継いでいくことは我々の使命であることから、安定した財政基盤を確立するための第一歩と位置づけ、平成29年度当初予算編成のスローガンを「将来のために覚悟を持って臨む予算編成」とした。

以下、3つの基本的な考え方を掲げる。

(1) 事業の「選択と集中」

すべての事務事業について、納税者の視点で事務事業の必要性、有効性、緊急性を検証し、既存事業の整理、統合、廃止等、限りある財源のより効率的な活用に努める。

(2) 予算編成手法の見直し

事業担当グループの視点に財政的な視点や経営的な視点を加えて、真に必要な事業を見極める。

(3) 重点取組事項への財源配分

サマーレビュー※の結果を踏まえ、緊急度、優先度が高い事業を絞り込み、重点取組事項へ集中的に財源を配分する。

※サマーレビューとは、重要課題について、中長期的な視点で2役（市長・副市長）と方向性や考え方、事業手法等の情報を共有し、合意形成を図り、事業の不断の見直しを定着させ、効率的、効果的、計画的に事業を進め、健全な財政運営につなげる取組のことをいう。

○重点取組事項

平成29年度予算編成は、第6次高浜市総合計画中期基本計画の総仕上げの年であることから、基本目標ごとの重点施策は特に設けず、各部局において、目標の達成に向けて戦略的な取組を推進する。なお、サマーレビューの結果を踏まえ、以下、5つの重点取組事項を掲げる。

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| (1) 徴収率の向上につながる事業 | (2) 企業誘致につながる事業 |
| (3) 防災・減災につながる事業 | (4) 教育環境の向上につながる事業 |
| (5) 「生涯現役のまちづくり」につながる事業 | |

○予算編成過程

- | | |
|---------|----------------------------|
| 8月 | ・サマーレビューの実施 |
| 9月 | ・第1回予算編成会議の開催、予算編成方針の公表 |
| 10月～11月 | ・一次査定、第2回予算編成会議の開催 |
| 12月 | ・二次査定 |
| 1月 | ・当初予算（案）の確定 |
| 2月 | ・第3回予算編成会議の開催、当初予算（案）の議会上程 |

2 予算規模

○一般会計の予算総額は、前年度に比べて2.6%減の140億2,700万円となった。前年度は、総合窓口・総合住民情報システムの更新、市役所本庁舎の整備、いきいき広場空調機等更新工事やスポーツ施設改修工事など公共施設関連工事、及び、臨時福祉給付金の給付等により、予算規模は平成元年以降において過去3番目の規模であった。平成29年度は個人市民税で過去最高額を見込むものの、歳出全般が平時に戻り、将来の財政需要に備えて、借入金の残高を減らすなど、財政基盤を固める年度といえる。

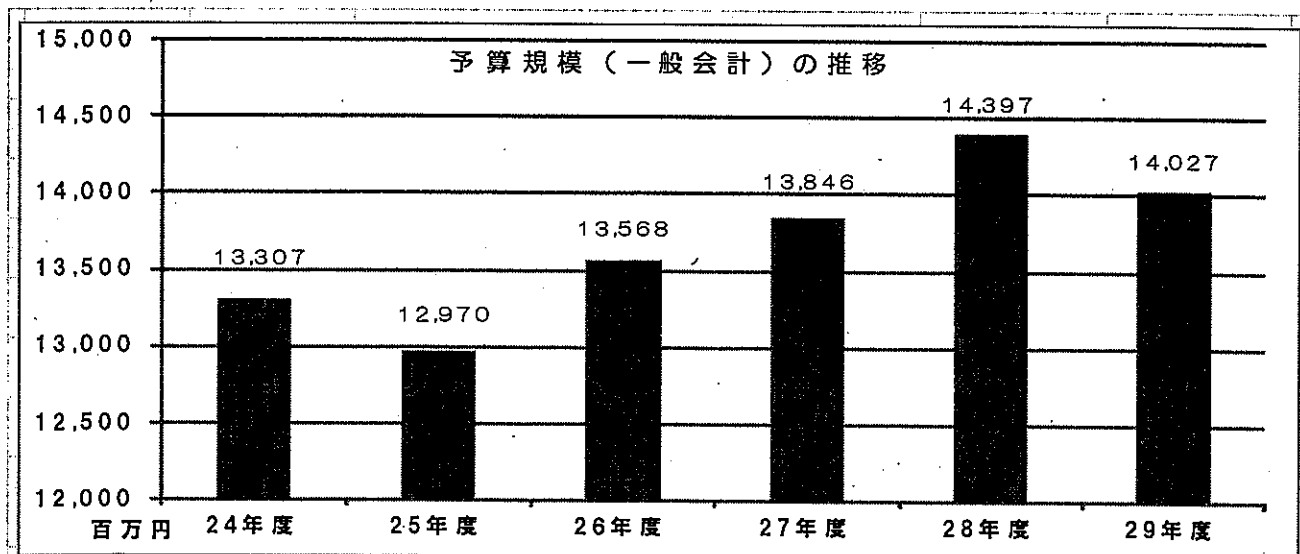
○特別会計を含む全会計の予算総額は、前年度に比べて0.7%減の240億4,522万円となった。

(1) 全会計（当初予算）予算規模の比較

(単位：千円)

会計名	29年度	28年度	増(▲)減	増減率(%)	
一般会計	14,027,000	14,397,400	▲370,400	▲2.6	
特別会計	国民健康保険事業	3,897,456	3,917,219	▲19,763	▲0.5
	土地取得費	65,303	59,173	6,130	10.4
	公共下水道事業	1,555,129	1,465,929	89,200	6.1
	公共駐車場事業	29,283	30,123	▲840	▲2.8
	介護保険	2,762,610	2,655,221	107,389	4.0
	後期高齢者医療	475,753	492,093	▲16,340	▲3.3
	小計	8,785,534	8,619,758	165,776	1.9
水道事業会計	1,232,692	1,207,583	25,109	2.1	
合計	24,045,226	24,224,741	▲179,515	▲0.7	

(2) 予算規模（一般会計）の推移



(単位：百万円)

年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
一般会計	13,307	12,970	13,568	13,846	14,397	14,027
増減率(%)	▲0.5	▲2.5	4.6	2.0	4.0	▲2.6

3 歳入の状況（一般会計）

- 「市税」は、過去最高額を見込む個人市民税をはじめ、すべての税目において増加を見込み、87億1,750万円で、前年度に比べて2億6,529万円、3.1%の増となった。
- 「地方交付税」は、「不交付団体」となったことにより、普通交付税の皆減と特別交付税の大幅減を見込み1,500万円で、前年度に比べて1億6,500万円、91.7%の減となった。
- 「国庫支出金」は、臨時福祉給付金の皆減等により、16億7,957万円、前年度に比べて3,214万円、1.9%の減。「県支出金」は、新あいち創造産業立地補助金の増加により、9億6,280万円、前年度に比べて5,972万円、6.6%の増となった。
- 「繰入金」は、財政調整基金等繰入額の減少により、1億9,533万円で、前年度に比べて2億3,592万円、54.7%の減となった。
- 「市債」は、高浜中学校外壁等改修工事等の教育債を2億5,100万円計上する一方で、いきいき広場空調機等改修工事にかかる民生債や臨時財政対策債の皆減等により2億8,400万円で、前年度に比べて2億9,000万円、50.5%の減となった。

(1) 一般会計（当初予算）歳入状況の比較

（単位：千円）

区分	29年度	構成比(%)	28年度	構成比(%)	増(▲)減	増減率(%)
市税	8,717,503	62.1	8,452,212	58.7	265,291	3.1
地方交付税	15,000	0.1	180,000	1.2	▲165,000	▲91.7
国庫支出金	1,679,579	12.0	1,711,726	11.9	▲32,147	▲1.9
県支出金	962,807	6.9	903,081	6.3	59,726	6.6
繰入金	195,331	1.4	431,259	3.0	▲235,928	▲54.7
市債	284,000	2.0	574,000	4.0	▲290,000	▲50.5
その他	2,172,780	15.5	2,145,122	14.9	27,658	1.3
合計	14,027,000	100.0	14,397,400	100.0	▲370,400	▲2.6

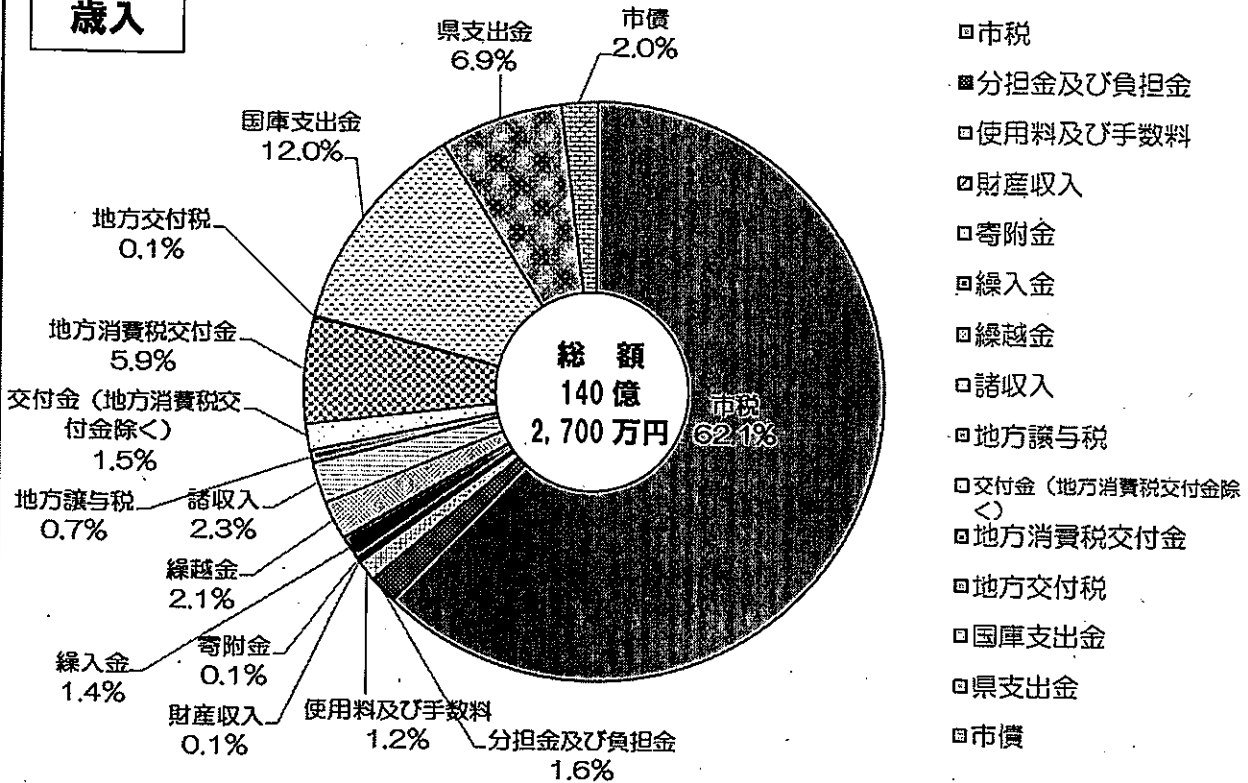
(2) 市税の内訳

（単位：千円）

税目	29年度	28年度	増(▲)減	増減率(%)
市民税	3,713,923	3,583,803	130,120	3.6
うち個人市民税	3,042,380	2,912,941	129,439	4.4
うち法人市民税	671,543	670,862	681	0.1
固定資産税	3,801,362	3,694,887	106,475	2.9
軽自動車税	100,222	100,016	206	0.2
市たばこ税	346,182	327,663	18,519	5.7
都市計画税	755,814	745,843	9,971	1.3
合計	8,717,503	8,452,212	265,291	3.1

- ・個人市民税：納税義務者数と給与所得者総所得金額の増による。
- ・固定資産税：戸建の新築と償却資産の増による。

歳入



コラム 市によって納める税金(市税)に差があるの？

「高浜市の税金は他の市より高いんじゃない？」…という声を聞くことがあります。はたして違いがあるのでしょうか？市に納められた税金で金額が大きいものは、①市民税 ②固定資産税 の2種類があり、この2種類について紹介します。

①市民税 (所得割)

税額の算出方法 : $\{ (\text{所得金額} - \text{所得控除額}) \times \text{税率} \} - \text{税額控除額}$

ポイントは「税率」ですが、「税率」は一般的には「標準税率」というものがあり、西三河地方の各市と同様に高浜市もその税率を使っています。したがって、市民税が高いということはありません。

市町村	税率
高浜市	標準税率
西三河各市	標準税率

②固定資産税

税額の算出方法 : $\text{土地や家屋などの固定資産税課税標準額} \times \text{税率}$

土地や家屋などの資産評価の基準は法律で決まっています、高浜市も基準に沿って評価していますので課税標準額は変わりません。「税率」についても全国の多くの自治体と同様に「1.4%」となっています。したがって、固定資産税が高いということはありません。

市町村	税率
高浜市	1.4
全国	1.4

(※一部超過課税を実施している自治体もあります)

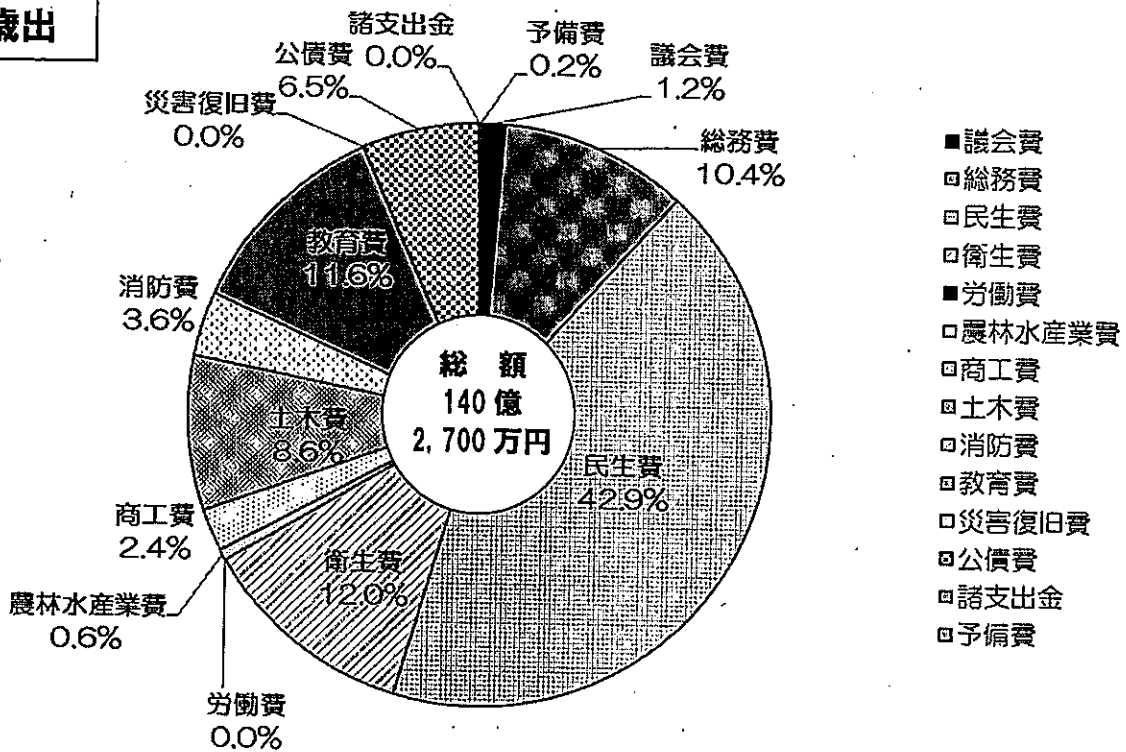
4 歳出の状況（一般会計）

- 「総務費」は、総合計画後期基本計画の策定、土地・家屋台帳履歴管理システムの構築、市税等の徴収における国税専門官の採用、防災備蓄倉庫の設置、公的証明書のコンビニ交付、防犯カメラ設置等にかかる費用を計上するものの、総合窓口・総合住民情報システム業務委託料、市役所本庁舎借上料等の減少により、前年度に比べて2億5,614万円、14.9%の減となった。
- 「民生費」は、民間保育所運営委託料や障害児給付費等扶助料の増加、（仮称）たかとりこども園開園に向けた土地測量業務委託料等を計上するものの、いきいき広場空調機等更新工事費や臨時福祉給付金給付費等の減少により、前年度に比べて1億2,788万円、2.1%の減となった。
- 「衛生費」は、健康診査委託料や病院施設設備整備費補助金が増加するものの、衣浦衛生組合分担金の減少により、前年度に比べて2,817万円、1.6%の減となった。
- 「商工費」は、企業再投資促進補助金等の増加により、前年度に比べて1億521万円、46.7%の増となった。
- 「教育費」は、スポーツ施設改修工事費等は減少するものの、高浜中学校外壁等改修工事費、南中学校屋内運動場防災機能強化工事費、勤労青少年ホーム跡地活用支援業務委託料、高取小学校大規模改修に向けた基本計画策定業務委託料、高浜芳川緑地多目的広場管理運営委託料等の計上により、前年度に比べて691万円、0.4%の増となった。

（単位：千円、％）

科 目	平成 29 年度		平成 28 年度		増 減	
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増(▲)減	増減率
議 会 費	169,870	1.2	166,604	1.2	3,266	2.0
総 務 費	1,460,614	10.4	1,716,759	11.9	▲256,145	▲14.9
民 生 費	6,018,276	42.9	6,146,165	42.7	▲127,889	▲2.1
衛 生 費	1,686,119	12.0	1,714,290	11.9	▲28,171	▲1.6
労 働 費	658	0.0	667	0.0	▲9	▲1.4
農林水産業費	83,891	0.6	96,493	0.7	▲12,602	▲13.1
商 工 費	330,301	2.4	225,085	1.6	105,216	46.7
土 木 費	1,205,982	8.6	1,232,510	8.5	▲26,528	▲2.2
消 防 費	500,176	3.6	534,236	3.7	▲34,060	▲6.4
教 育 費	1,631,513	11.6	1,624,603	11.3	6,910	0.4
災害復旧費	4	0.0	4	0.0	0	0.0
公 債 費	909,595	6.5	909,983	6.3	▲388	▲0.1
諸 支 出 金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
予 備 費	30,000	0.2	30,000	0.2	0	0.0
合 計	14,027,000	100.0	14,397,400	100.0	▲370,400	▲2.6

歳出



用語解説

議会費

議員の報酬や議会事務局の person 費、議会運営などにかかる経費

総務費

市庁舎の管理、市民協働、戸籍住民基本台帳などにかかる経費

民生費

児童、高齢者、障がい者などの福祉にかかる経費

衛生費

ごみ処理、医療、保健衛生などにかかる経費

労働費

労働者の福祉向上や就労支援などにかかる経費

農林水産業費

農業の振興、技術の普及などにかかる経費

商工費

商工業の振興、技術の普及や観光などにかかる経費

土木費

道路・河川・公園などの整備や維持管理にかかる経費

消防費

消防団活動や広域消防にかかる経費

教育費

幼・小中学校、生涯学習などにかかる経費

公債費

市の借金の返済にかかる経費

予備費

緊急に支出を必要とする場合に備えて用意している経費

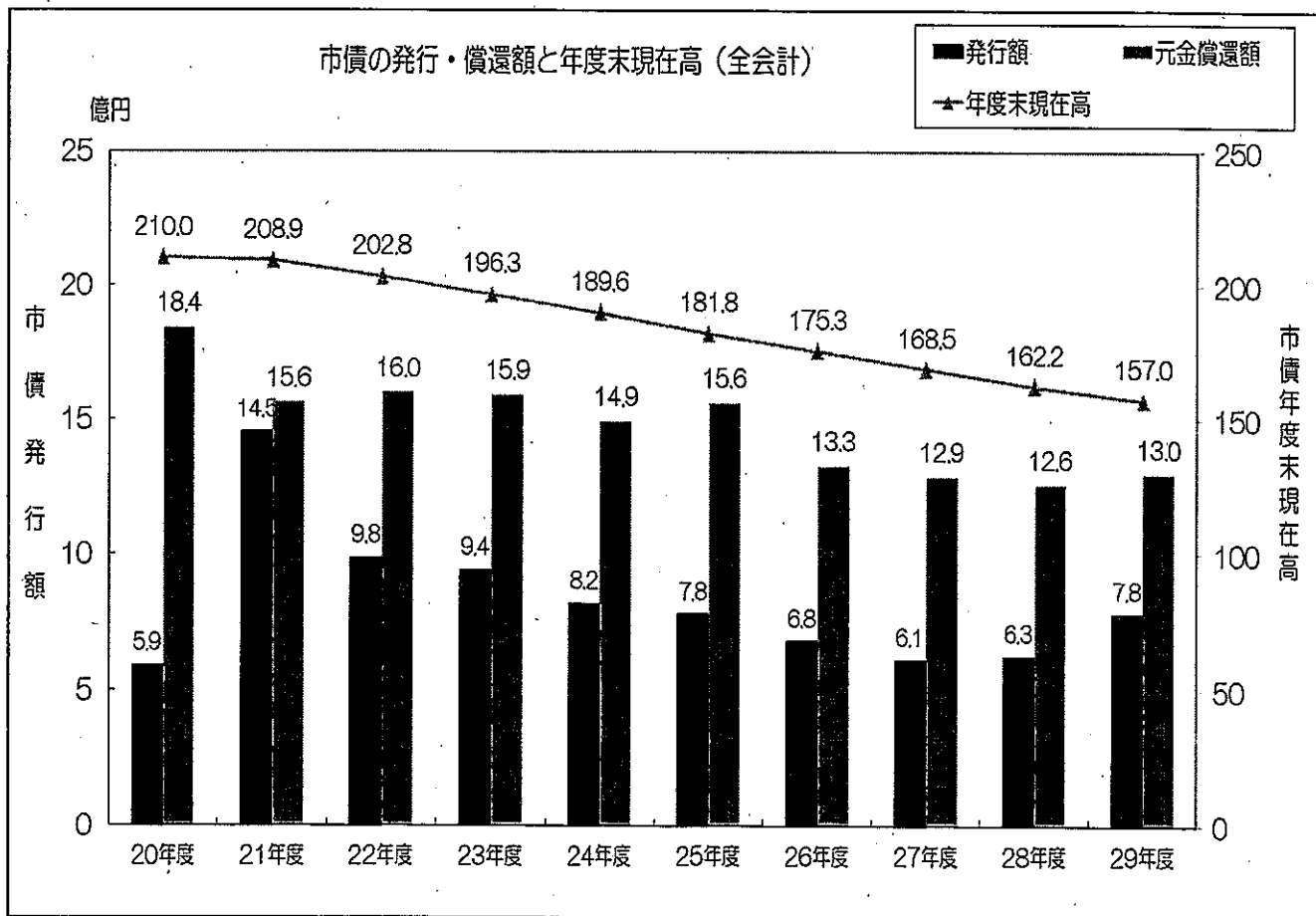
5 市債の状況（借入・返済額と現在高）

市債残高の推移

（単位：千円）

区分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
一般会計	普通債	3,350,499	2,893,524	2,562,124	2,492,087	2,422,046
	臨時財政対策債等	6,163,525	6,037,493	5,768,768	5,314,952	4,844,708
	小計	9,514,024	8,931,017	8,330,892	7,807,039	7,266,754
企業会計 特別会計	下水道事業特別会計	7,840,971	7,816,237	7,760,205	7,675,597	7,725,955
	水道事業会計	822,734	784,143	763,433	739,541	712,274
合計		18,177,729	17,531,397	16,854,530	16,222,177	15,704,983

備考 市債残高は、平成25年度から平成27年度までは決算額、平成28年度及び平成29年度は見込額を示す。



Q.

市の借金（市債）はどれくらいあるの？



高浜市の借金が心配ね。現在、どういう状況なのかしら？

長期的に見通しを立て、計画的に借りたい、返したいして、将来に備えて、着実に減らしてきています。



解説

Q. なぜ、借金をするの？

A. 公共施設の建設など、いわゆる社会資本の整備には、一度に多額の経費がかかります。その経費を調達するために借金をします。借金には主に、次の2つの考え方があります。

①現役世代だけではなく、将来世代においても、整備された社会資本を利用しますので、税負担の公平性の観点から、将来世代にもその財政負担の一部をお願いするという考え方。

②社会資本の整備に当たり、整備年度において、一括して財源を負担することは、当該年度の財政運営に支障を及ぼす恐れがあり、適切ではないため、負担の平準化を図るという考え方。

Q. 市債（借金）残高の推移は？

A. 平成13年度には、借金残高は255億円ありましたが、借金の残高は年々減っており、平成29年度末は157億円と見込んでいます。これは、「かわら美術館」や「三河高浜駅付近」をはじめとする市街地の再開発などに借りたお金の返済が終わってきているためです。また、ここ数年、投資的経費を抑えていたため、借金の借入が少なかったことも理由のひとつです。

【参考】 地方債現在高／標準財政規模（％） 84.62％（27位／790市）

（全国都市財政年報 全国790都市・2015年度決算／日本経済新聞出版社）より
平成27年度末の本市の標準財政規模に対する地方債現在高の割合は、84.62％で、全国ランキングは27位となっています。このことは、将来の財政負担が少ないことを意味しており、財政の弾力性を確保する要素となっています。

Q. これから先はどうなるの？

A. ここ数年、「市債の借入額」は、少しずつ増えてきています。

これは、公共施設の老朽化対策として、施設の大規模な改修などが始まり、借入れが少しずつ増えてきているためです。これからも老朽化した公共施設の改修が見込まれ、その財源として借入れをする予定で、今後、市債残高が増えていくことが予想されます。

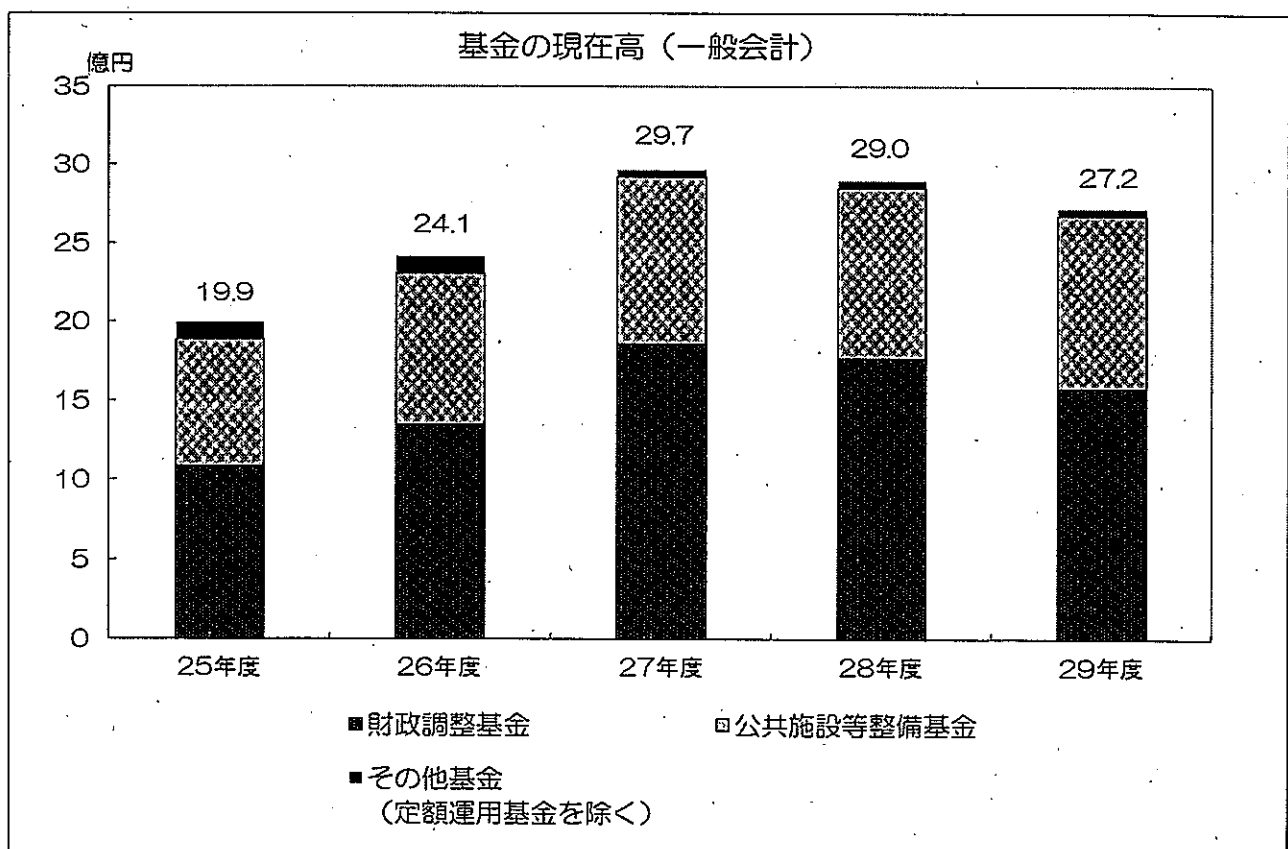
6 基金（貯金）の状況

基金年度末残高の推移

(単位：千円)

区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
財政調整基金	1,081,086	1,343,309	1,854,029	1,764,692	1,572,305
公共施設等整備基金	805,039	961,735	1,069,193	1,086,282	1,102,371
その他基金 (定額運用基金を除く)	106,233	108,240	43,426	46,680	47,394
合計	1,992,358	2,413,284	2,966,648	2,897,655	2,722,070

備考 基金の年度末残高は、平成25年度から平成27年度までは決算額、平成28年度及び平成29年度は見込額を示す。



Q. 市の貯金（基金）はどれくらいあるの？



高浜市にも貯金があるわよね。

これからのためにちゃんと貯蓄できているのかしら??

実は貯金はあまり多くありません…。

ですが、公共施設のためのお金は蓄えてきています。



解説

Q. 基金（貯金）の状況は？

A. 高浜市には突然の不景気や大規模災害などに対応し、何の目的にも使える自由度の高い基金である「財政調整基金」や学校などの公共施設の整備に使うための「公共施設等整備基金」など 10 種類の基金があります。

リーマンショック前、「財政調整基金」残高は 20 億円を超えていましたが、リーマンショックの影響により毎年使うお金が市税などの収入では足りず、財政調整基金を崩した結果、平成 24 年度には 10 億円まで減少しました。平成 29 年度末の残高は 16 億円を見込んでいます。

Q. 公共施設整備の基金は？

A. 公共施設等の整備に必要な財源を確保するため、平成 21 年度に「公共施設等整備基金」を設置し、計画的な積み立てを行っています。平成 29 年度末の残高は 11 億円を見込んでいます。

【参考】基金（積立金）／標準財政規模（％） 32.79％（514 位／790 市）

（全国都市財政年報 全国 790 都市・2015 年度決算／日本経済新聞出版社）より

平成 27 年度末の本市の標準財政規模に対する基金現在高の割合は、32.79％で、全国ランキングは 514 位と、下位 1/3 レベルにあります。このことは、将来の財源不足への対応や大規模な災害が発生した場合の財政余力が乏しいことを示しています。

Q. これから先は？

A. 財政運営の安定化を図るためには、財政調整基金の積み立てが必要です。一般的に、財政調整基金残高の目安は、標準財政規模の 10％といわれ、本市では 10 億円となりますが、リーマンショックの影響で 10 億円減少したことを踏まえ、目標額を 20 億円と設定し、計画的に積み立てを行っていきます。

巻末資料

(1) 広報たかはま（4月1日号）

「平成29年度当初予算の概要」

(2) 主要・新規事業一覧

第6次高浜市総合計画体系別重点事業

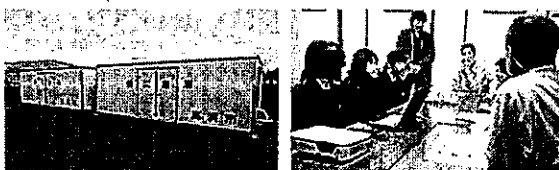
I みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう

- ・総合計画審議会委員報酬等(新規) 328万円
- ・証明書コンビニ交付関連経費(新規) 145万円
- ・土地・家屋台帳履歴管理システム構築業務委託(新規) 1,225万円
- ・国税専門官賃金等(新規) 426万円
- ・勤労青少年ホーム跡地活用支援業務委託(継続) 864万円



III 明日を生み出すエネルギー やる気を活かせるまちをつくらう

- ・防災備蓄倉庫設置(拡充) 1,421万円
- ・給水車整備事業繰出金(新規) 523万円
- ・企業再投資促進補助(拡充) 1億1,044万円
- ・コミュニティ・ビジネス創出支援業務委託等(継続) 1,079万円
- ・空家実態調査業務委託(新規) 78万円



II 学び合い 力を合わせて 豊かな未来を育もう

- ・(仮称)たかとりこども園土地測量業務委託(新規) 111万円
- ・児童クラブ業務委託(拡充) 3,889万円
- ・高浜小学校等整備事業設計・建設モニタリング業務委託(継続) 1,503万円
- ・港小学校緊急連絡装置整備工事(新規) 1,617万円
- ・翼小学校体育館防災機能強化工事(新規) 1,565万円
- ・吉浜小学校校内テレビ共聴設備工事(新規) 426万円
- ・高取小学校大規模改修基本計画策定業務委託(新規) 496万円
- ・高浜中学校外壁等改修工事(新規) 5,332万円
- ・南中学校体育館防災機能強化工事(新規) 5,602万円
- ・市誌編さん業務委託等(拡充) 1,470万円
- ・高浜芳川緑地多目的広場管理運営委託等(新規) 481万円

IV いつも笑顔で健やかに つながり 100倍ひろげよう

- ・生活支援体制整備事業委託(新規) 800万円
- ・生涯現役のまちづくり支援業務委託(継続) 745万円



※()内は前年比

市民1人あたりの予算

(行政サービスの額)

29万5千円
(1万3千円減)

計算方法

一般会計
平成29年1月1日現在の
人口47,472人



民生費
12万7千円
(4千円減)



総務費
3万1千円
(6千円減)



消防費
1万1千円
(増減なし)



衛生費
3万5千円
(2千円減)



土木費
2万5千円
(1千円減)



商工費
7千円
(2千円増)



教育費
3万4千円
(1千円減)



公債費
1万9千円
(増減なし)



その他(興業 議会など)
6千円
(1千円減)

市民1人あたりの借金

34万2千円
(1万9千円減)

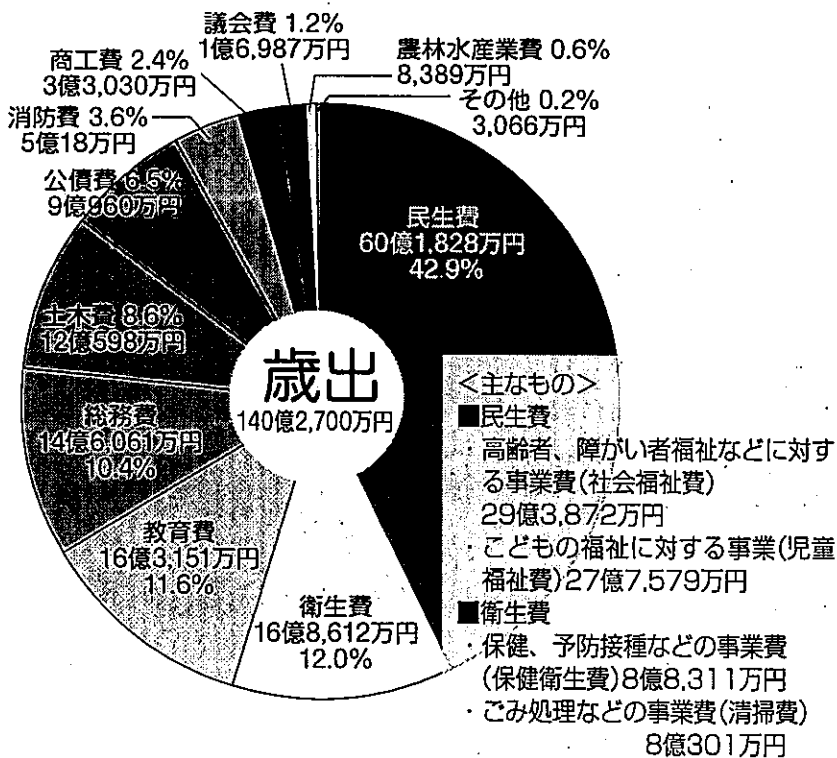
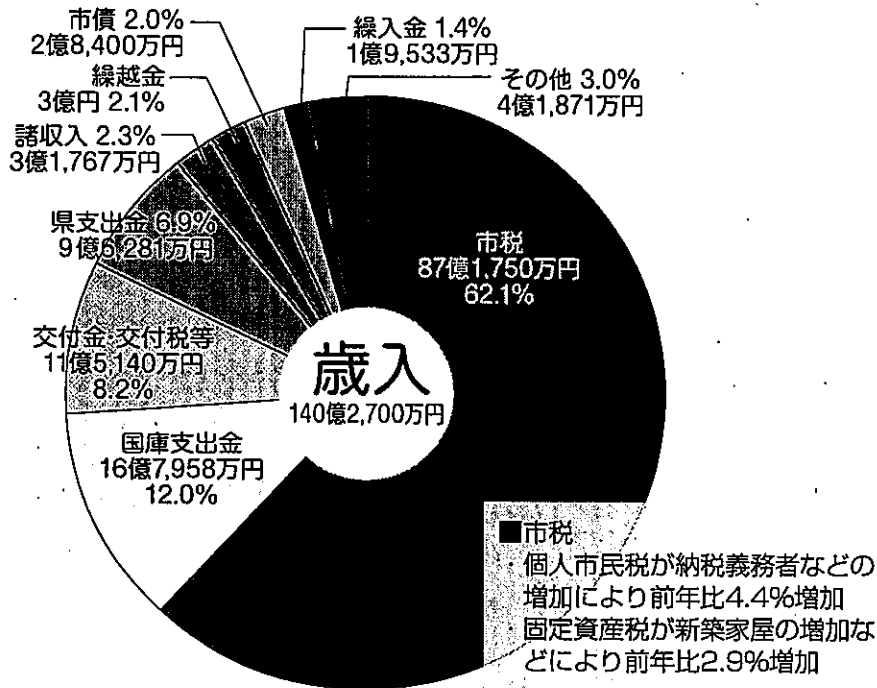
一般会計の借入残高が約5.2億円減少したことなどにより、市民1人あたりの借金が減少しています。

計算方法

(一般会計+特別会計+企業会計)の
平成29年4月1日借入残高の合計
平成29年1月1日現在の人口
(47,472人)

問合せ先 財務グループ ☎52-1111 (内線306)

《一般会計の歳入・歳出》



平成29年度 当初予算 の概要

将来的に公共施設の老朽化対策費や社会保障費の増大が見込まれるなか、安定した財政基盤を確立するための第一歩と位置づけて予算編成しました。

当初予算 全会計総額

240億4,523万円

(前年比0.7%減)

一般会計

140億2,700万円

(前年比2.6%減)

特別会計

87億8,554万円

(前年比1.9%増)

<内訳>

国民健康保険事業	38億9,746万円
土地取得費	6,530万円
公共下水道事業	15億5,513万円
公共駐車場事業	2,928万円
介護保険	27億6,261万円
後期高齢者医療	4億7,576万円

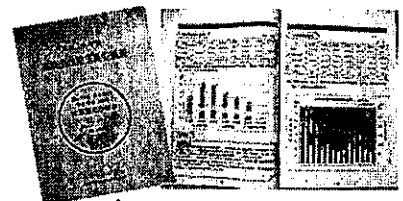
企業会計

12億3,269万円

(前年比2.1%増)

<内訳>

水道事業	12億3,269万円
------	------------



詳しくは、予算をわかりやすく解説した『当初予算の概要』の冊子がありますのでご覧ください。市役所、公民館や市公式ホームページで入手できます。

一般会計とは

市の会計の基本となるもので、市税収入を主な財源として、福祉の充実や道路の整備など市の基本的な施策に要する経費を経理する会計です。

特別会計とは

特定の事業を行う場合に、その特定の収入を特定の支出に充て、一般会計と別に経理する会計です。

企業会計とは

独立採算による特定の事業を経理する会計です。

(2) 主要・新規事業一覧

NO	区分	事業名	事業費	頁
1	主要 新規	総合計画進行管理事業 (総合計画審議会委員報酬等)	3,284千円	17
2	主要 新規	総合住民情報管理事業 (地方公共団体情報システム機構負担金) 戸籍住民基本台帳事務事業 (証明書コンピ二交付手数料等)	1,447千円	18
3	重点	防災活動事業 (防災備蓄倉庫設置)	14,208千円	19
4	新規	市税賦課事業 (土地・家屋台帳履歴管理システム構築業務委託)	12,249千円	21
5	重点 新規	市税等徴収事業 (国税専門官賃金等)	4,263千円	22
6	主要 新規	保育園管理運営事業 (〔仮称〕たかとりこども園土地測量業務委託)	1,110千円	23
7	主要	放課後児童健全育成事業 (児童クラブ業務委託)	38,893千円	25
8	重点 新規	水道事業会計繰出金 (給水車整備事業繰出金)	5,231千円	27
9	重点	産業経済活性化事業 (企業再投資促進補助)	110,436千円	29
10	主要	地方創生推進交付金事業 (コミュニティ・ビジネス創出支援業務委託等)	10,790千円	31
11	新規	建築総務事業 (空家実態調査業務委託)	784千円	33
12	重点	小学校維持管理事業 (高浜小学校等整備事業設計・建設モニタリング業務委託)	15,034千円	35
13	重点 新規	小学校維持管理事業 (高取小学校大規模改修基本計画策定業務委託)	4,961千円	37
14	重点 新規	中学校維持管理事業 (高浜中学校外壁等改修工事)	53,322千円	39
15	主要	青少年ホーム管理事業 (勤労青少年ホーム跡地活用支援業務委託)	8,640千円	41
16	主要	文化財保護事業 (市誌編さん業務委託等)	14,698千円	43
17	新規	生涯スポーツ推進事業 (高浜芳川緑地多目的広場管理運営委託等)	4,810千円	45
18	新規	【介護保険特別会計】 生活支援体制整備事業(生活支援体制整備事業委託)	8,000千円	46

主要・新規事業等

事業名等		総合計画進行管理事業（総合計画審議会委員報酬等）【新規】										
担当グループ		企画部総合政策グループ										
総合計画区分		基本目標	I みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう				個別目標	(1) まちへの想いを育み、未来を切り開くチカラを高めます				
予算区分		会計	一般会計	款	02総務費	項	01総務管理費	目	12企画費			
アクションプラン		事業名 02総合計画進行管理事業										
事業概要		<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない										
事業概要	事業の必要性・実施の背景	平成29年度は、第6次高浜市総合計画「中期基本計画」の最終年度であることから、基本構想の実現に向けて、平成30年度から33年度までのまちづくりの目標・目指すべき姿や、目標達成のための具体的な方策・手段を明確化した「後期基本計画」を策定し、社会経済情勢の変化等を踏まえ、新たな課題等に対応した市政運営を進める必要がある。										
	目的（何のために）	将来都市像「思いやり 支え合い 手と手をつなく 大家族たかほま」の実現に向け、時代の変化や新たな課題等に対応した「後期基本計画」を策定するため。										
	対象（誰・何を対象に）	市民										
	事業内容（手段、手法など）	総合計画を「みんなで考え、みんなで行動する計画」としていくためには、計画の策定段階から、多くの市民の意見・提案を取り入れて策定することが大切である。 市民参画の頂点組織である「高浜市総合計画審議会」をはじめ、市民の皆さんの声を広くお聞きするため、例えば「（仮称）課題解決ワールドカフェ」、「（仮称）ジャンル別ワールドカフェ」、「市民ヒアリング」、「市民意識調査／小・中学生アンケート」、「パブリックコメント」を実施するなど、多様な参画機会を創出し、市民とともにまちづくりの目標・課題・解決策といった情報を共有しながら策定を進めていく。										
目指す成果（期待される効果）	「後期基本計画」を策定することにより、今後の高浜市が目指すべき姿や、目指すべき姿の実現のために取り組むべき方策・手段を明確化することができ、持続可能な活力ある地域社会の構築、満足感・納得感の高い市政運営を行うことができる。 第7次総合計画の策定を見据え、多くの市民に参画いただくことで、まちづくりの担い手の裾野の広がりを期待できる。											
目標設定（なるべく定量的な目標値を記入）	目標（何をどのようにする）								達成時期（いつまでに）			
	行政だけでなく市民の声を多く取り入れながら、後期基本計画を策定する。								平成30年1月			
平成29年度	事業費（経費）		財源内訳（単位：千円）									
	3,284 千円		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			3,284		
事業費積算内容	<ul style="list-style-type: none"> 総合計画審議会委員報酬 319千円 後期基本計画策定アドバイザー謝礼 250千円 消耗品費 162千円 印刷製本費 348千円 市民意識調査業務委託料 2,182千円 公共施設会場使用料 23千円 											
平成29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
事業実施スケジュール	★審議会 施策構成(目標)の検証		★審議会 計画案の検討、指標の検討			★審議会 最終案の検討 ★素案発表会・パブコメ ★新指標の現状値調査（必要に応じ）			★審議会より答申 ★議案上程 計画書の編集・デザイン			
	課題解決ワールドカフェ（月2回程度）											
予算書及び予算説明書該当ページ		109ページ										

主要・新規事業等

事業名等	総合住民情報管理事業（地方公共団体情報システム機構負担金） 戸籍住民基本台帳事務事業（証明書コンビニ交付手数料等）【新規】											
担当グループ	企画部総合政策グループ・市民総合窓口センター市民窓口グループ											
総合計画区分	基本目標	I みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう				個別目標	(2) 将来を見据えた計画的・効果的な財政運営を行います					
予算区分	会計	一般会計		款	02総務費		項	01総務管理費 03戸籍住民基本台帳費		目	14電算管理費 01戸籍住民基本台帳費	
	事業名	01総合住民情報管理事業・02戸籍住民基本台帳事務事業										
アクションプラン	<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない											
事業概要	事業の必要性・実施の背景	コンビニ交付は、マイナンバーカードを利用して、住民票の写し等の各種証明書がコンビニ等に設置されているキオスク端末で取得できるサービスである。全国のコンビニ等において住民票の写しなどの公的な証明書を取得できるため、住民の利便性向上が図られる。										
	目的（何のために）	コンビニ等が設置したキオスク端末の活用により、居住する市区町村の区域を越えて「どこでも」ワンストップで証明書等を受け取ることが可能となり、行政サービスをより一層効率的に提供することを目的とする。										
	対象（誰・何を対象に）	市民及び来訪者										
	事業内容（手段、手法など）	平成29年10月のサービス開始に向け、地方公共団体情報システム機構にコンビニ交付サービス申込書の申請を行い、各種設計の実施（システム設計、機器構成設計、ネットワーク設計、運用設計）を行う。また各種サーバの構築を行った後、地方公共団体の証明発行サーバからLGWANを経由して証明書交付センターシステムと連携するシステム確認試験と、障害発生時の連絡方法や手順等を確認する業務運用試験を行う。										
目指す成果（期待される効果）	コンビニ交付を行うことにより、その最大のメリットは生活圏域のコンビニで昼夜を問わず証明書の取得が可能となることから、在住者に限らず、在勤・在学等の生活状況に合った柔軟なタイミングでサービスの提供が可能となる。											
目標設定（なるべく定量的な目標値を記入）	目標（何をどのようにする）										達成時期（いつまでに）	
	1. 市窓口での証明書交付件数の10%をコンビニ交付とする。 2. コンビニ交付サービスの利用に必要な不可欠なマイナンバーカードの普及を図り、人口比率7%の交付を目指す。										1. 平成31年3月 2. 平成29年10月	
平成29年度	事業費（経費）			財源内訳（単位：千円）								
	1,447 千円			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			1,447	
事業費積算内容	【総合政策グループ予算計上分】 総合住民情報管理事業（地方公共団体情報システム機構負担金） 1,219千円 【市民窓口グループ予算計上分】 戸籍住民基本台帳事務事業（特別旅費） 74千円 戸籍住民基本台帳事務事業（証明書コンビニ交付手数料） 154千円											
平成29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業実施スケジュール	■サービス申込書の提出						■証明書コンビニ交付開始					
	システム設計・開発・導入											
	システム業者との調整											
				システム確認試験・業務運用試験								
予算書及び予算説明書該当ページ	111・121ページ											

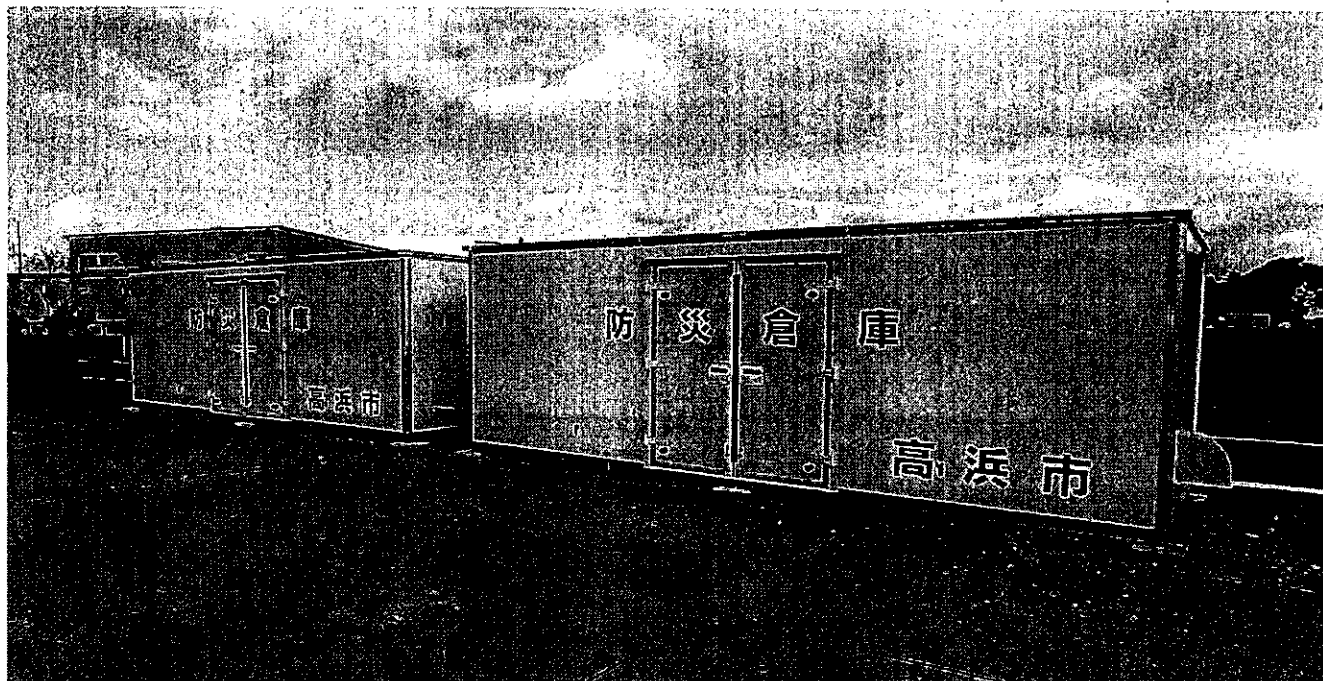
主要・新規事業等

事業名等	防災活動事業（防災備蓄倉庫設置）【継続】													
担当グループ	都市政策部都市防災グループ													
総合計画区分	基本目標	Ⅲ 明日を生み出すエネルギーやる気を活かせるまちをつくろう						個別目標	(9) 安全・安心が実感できる地域づくりを進めます					
予算区分	会計	一般会計	款	02総務費			項	01総務管理費			目	18防災対策費		
アクションプラン	事業名 01 防災活動事業													
事業概要	<p>■該当する □該当しない</p>													
事業の必要性・実施の背景	避難所の中心となる小・中学校に防災備蓄倉庫を設置しているが、資機材等の整備・拡充に伴い、現在の規模では全てを保管することが困難な状況である。													
目的（何のために）	必要な資機材等をまとめて保管できる防災備蓄倉庫を設置することで、災害時における避難所の設置及び運営等の迅速化を図るため（平成27年度より3カ年計画）													
対象（誰・何を対象に）	避難者等													
事業内容（手段、手法など）	<p>（設置場所） 平成27年度：高浜小学校、翼小学校 平成28年度：吉浜小学校、南中学校 平成29年度：高取小学校、港小学校、高浜中学校</p> <p>（設置基数） 各校2基</p> <p>（規格） 幅6m×奥行2m×高さ2m</p>													
目指す成果（期待される効果）	災害時に、防災備蓄倉庫の資機材等を活用し、迅速な避難所の設置及び運営を図ることで、避難者の安定した避難生活が確保されている。													
目標設定（なるべく定量的な目標値を記入）	目標（何をどのようにする）										達成時期（いつまでに）			
	各校2基×7施設										平成30年3月			
平成29年度	事業費（経費）			財源内訳（単位：千円）										
	14,208 千円			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			11,184			
事業費積算内容	防災備蓄倉庫一式 2,368千円×6基＝14,208千円													
平成29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期				
事業実施スケジュール	関係者と設置場所の調整			契約準備・締結			納品・設置							
予算書及び予算説明書該当ページ	115ページ													

これまでの主な取組と成果

事業年度	平成 27 年度 ～ 平成 28 年度	総事業費	17,194千円		
これまでの主な取組と成果	<p>平成27年度より、3カ年計画により防災備蓄倉庫の設置を進めている。 防災備蓄倉庫の設置により、これまで分散して保管していた資機材等を一括して保管・管理できるようになり、災害時における避難所設置等での迅速な対応が可能となった。 また、平成27年度に設置した高浜小学校や翼小学校では、平成28年9月に実施した高浜市総合防災訓練において、地域住民による倉庫内の資機材等の確認や組立て訓練なども行われている。</p>				
平成28年度 (予算)	取組内容	吉浜小学校及び南中学校に、防災備蓄倉庫（各校2基）を設置した。			
	事業費（経費）	財源内訳（単位：千円）			
	8,640 千円	国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源
	8,640 千円	2,460			6,180
主な経費	防災備蓄倉庫一式 2,160千円×4基=8,640千円				
平成27年度 (決算)	取組内容	高浜小学校及び翼小学校に、防災備蓄倉庫（各校2基）を設置した。			
	事業費（経費）	財源内訳（単位：千円）			
	8,554 千円	国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源
	8,554 千円	2,592			5,962
主な経費	防災備蓄倉庫一式 2,138,400円×4基=8,553,600円				

資 料 等（位置図等）



翼小学校（平成27年度設置）

主要・新規事業等

事業名等		市税賦課事業（土地・家屋台帳履歴管理システム構築業務委託）【新規】										
担当グループ		市民総合窓口センター税務グループ										
総合計画区分		基本 目標	I	みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう			個別 目標	(2) 将来を見据えた計画的・効果的な 財政運営を行います				
予算区分		会計	一般会計		款	02総務費	項	02徴税费		目	01賦課徴収費	
アクションプラン		<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない										
事業概要	事業の必要性・実施の背景	土地・家屋台帳の閲覧業務は、市民窓口サービスの一環として過去から行っているもので、登記情報（税通）を基に追記し、手数料を徴収して来庁者の閲覧に供している。 記載情報としては、明治、大正からの和紙で引き継がれているものが多く、紙として耐用年数も限界を迎えている。また、追記は現行、大量の手書きであり、費用対効果の観点からも効率化する必要がある。										
	目的（何のために）	劣化する紙の閲覧・追記から電子的閲覧・追記へと効率化する。										
	対象（誰・何を対象に）	窓口来庁者及び職員等の閲覧者										
	事業内容（手段、手法など）	台帳そのものの電子保存化を行い、同時に閲覧・追記システムを構築する。 法務局からの電子データを直接システムに取り込むことにより、追記作業の必要がなくなり、作業人件費の抑制が図れるとともに、人為的ミスが無くなる。 また、永久に増え続ける固定資産情報（永年保存）を今後、省スペースにて管理することができ。										
目指す成果（期待される効果）	1. 電子化により提供する情報の更新が早くなり、来庁者閲覧サービスの質を向上できる。 2. パソコンの物件検索機能により、すぐに情報を取得できる。 3. 電子化することにより経費削減ができる。 4. 事務作業の効率化ができる。											
目標設定（なるべく定量的な目標値を記入）	目標（何をどのようにする）									達成時期（いつまでに）		
	システム構築により、来庁者閲覧サービス向上及び更新作業効率化を図り、安定した運用を行う。									平成30年3月		
平成29年度	事業費（経費）		財源内訳（単位：千円）									
	12,249 千円		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		12,249			
事業費積算内容	○13節 土地・家屋台帳履歴管理システム構築業務委託料 12,249千円 ・土地家屋台帳履歴管理システム構築 ・Web版土地・家屋台帳履歴管理システム構築及びセットアップ費 ・サーバー等関連機器導入費 ①H27税通件数 4,783件 ②H27窓口台帳閲覧件数 531件											
平成29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
事業実施スケジュール						・電子データ変換 ・台帳電子化			・システム構築			・運用開始
予算書及び予算説明書該当ページ	119ページ											

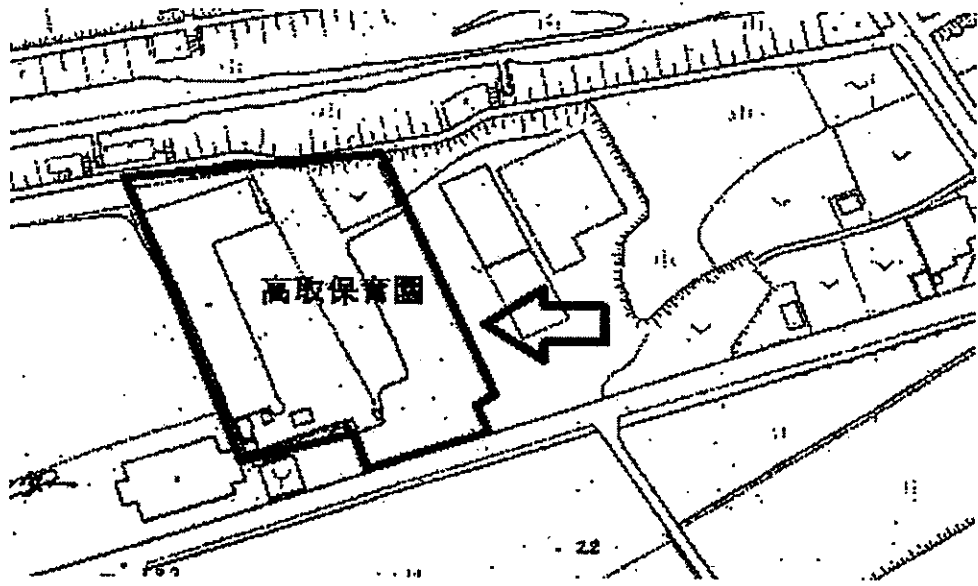
主要・新規事業等

事業名等		市税等徴収事業（国税専門官賃金等）【新規】										
担当グループ		市民総合窓口センター税務グループ										
総合計画区分		基本目標 I みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう					個別目標 (2) 将来を見据えた計画的・効果的な財政運営を行います					
予算区分		会計 一般会計		款 02総務費		項 02徴税費		目 01賦課徴収費				
アクションプラン		<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない										
事業概要	事業の必要性・実施の背景	<p>今後滞納整理を強化していく上で、より徴収困難な案件への対処は必要不可欠である。しかし、収納担当間で困難案件に対処できる人員には限りがあり、現在は滞納整理機構へ依存している部分が多い。滞納整理機構が今後も継続していく可能性は不透明なため、機構へ依存しなくとも収納担当全体で困難案件に対処できる体制を整備する必要がある。</p>										
	目的（何のために）	<p>滞納整理について法的知識とその運用方法を持つ専門職員を導入し、滞納整理機構経験職員と連携して収納担当全体のスキルアップを図る。</p>										
	対象（誰・何を対象に）	<p>職員・市民</p>										
	事業内容（手段、手法など）	<p>高度な法的知識と運用方法を持つ国税OBを導入し、滞納整理担当兼アドバイザーとして徴収率と収納担当全体のスキルアップを図る。</p>										
目指す成果（期待される効果）		<p>滞納整理専門職員として、徴収専門に業務を行うことで徴収率が向上する。困難案件に対処するためのアドバイザーとして法的知識や運用方法を共有し、収納経験の浅い職員でも多様な案件に対処することができる。</p>										
目標設定（なるべく定量的な目標値を記入）		目標（何をどのようにする）									達成時期（いつまでに）	
		不動産公売など、より高度な滞納整理に職員全員が対応できる体制整備									平成30年3月	
平成29年度	事業費（経費）		財源内訳（単位：千円）									
	4,263 千円		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源					
						14		4,249				
事業費積算内容		賃金3,652千円 社会保険料570千円 雇用保険料41千円										
平成29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
事業実施スケジュール		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> ・国税OB導入 ➔ </div>										
予算書及び予算説明書該当ページ		119ページ										

主要・新規事業等

事業名等	保育園管理運営事業（（仮称）たかとりこども園土地測量業務委託）【新規】													
担当グループ	こども未来部こども育成グループ													
総合計画区分	基本目標	Ⅱ 学び合い 力を合わせて豊かな未来を育もう						個別目標	(5) 地域ぐるみで子育て・子育てを支えます					
予算区分	会計	一般会計			款	03民生費		項	02児童福祉費		目	02保育サービス費		
アクションプラン	■該当する □該当しない													
事業概要	事業の必要性・実施の背景	<ul style="list-style-type: none"> ・3歳未満児で待機児童が発生している。 ・保育園は入園希望者が定員を上回っているが、公立幼稚園では定員割れが続いている。 												
	目的（何のために）	<ul style="list-style-type: none"> ・安心してこどもを産み、育てられるよう、保育ニーズに対応した子育て環境を整える。 												
	対象（誰・何を対象に）	就学前の児童及びその家族												
	事業内容（手段、手法など）	<ul style="list-style-type: none"> ・こども園整備に向け、建設用地（市有地）の測量を実施する。 ・公募により決定した民間事業者が認定こども園を整備する。 ・市及び国が整備費用の3/4を補助する。（国費1/2、市費1/4） ・新園舎完成後に、市は高取幼稚園、高取保育園を廃止する。 												
目指す成果（期待される効果）	<ul style="list-style-type: none"> ・安心してこどもを産み、育てられるような、保育ニーズに対応した子育て環境が進む。 ・民間法人の運営により、保育サービスの充実が図られる。 													
目標設定（なるべく定量的な目標値を記入）	目標（何をどのようにする）										達成時期（いつまでに）			
	こども園整備に向け、建設用地（市有地）の測量を実施し、敷地を確定する。										平成29年6月			
平成29年度	事業費（経費）			財源内訳（単位：千円）										
	1,110 千円			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			1,110			
事業費積算内容	土地測量費 1,110千円													
平成29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期				
事業実施スケジュール	測量	←→					造成工事			←→				
		← 実施設計		←→			←→			← 基礎工事				
			← 開発申請			←→								
予算書及び予算説明書該当ページ	151ページ													

資料等(位置図等)



主要・新規事業等

事業名等		放課後児童健全育成事業（児童クラブ業務委託）【継続】																																		
担当グループ		こども未来部こども育成グループ																																		
総合計画区分		基本目標Ⅱ 学び合い 力を合わせて豊かな未来を育もう					個別目標 (5) 地域ぐるみで子育て・子育てを支えます																													
予算区分		会計 一般会計		款 03民生費		項 02児童福祉費			目 03家庭支援費																											
アクションプラン		事業名 10放課後児童健全育成事業																																		
アクションプラン		■該当する □該当しない																																		
事業概要	事業の必要性・実施の背景	<ul style="list-style-type: none"> 吉浜小学校区での児童クラブの利用希望が多い。 放課後居場所事業やセンターキッズ事業の利用により、対応している。 																																		
	目的（何のために）	<ul style="list-style-type: none"> 児童の就学を機に就労時間等変更せず、安心して子どもを育てられる環境を整える。 																																		
	対象（誰・何を対象に）	吉浜小学校区の昼間保護者のいない小学校1～6年生の児童																																		
	事業内容（手段、手法など）	<ul style="list-style-type: none"> 吉浜児童センター内に、（仮称）吉浜第2児童クラブを設け、吉浜小学校区の児童クラブの定員を20名増員する。 																																		
目指す成果（期待される効果）		<ul style="list-style-type: none"> 児童の就学を機に就労時間等変更せず、安心して子どもを育てられる環境が進む。 																																		
目標設定（なるべく定量的な目標値を記入）		目標（何をどのようにする）									達成時期（いつまでに）																									
		吉浜児童センター内に、（仮称）吉浜第2児童クラブを設け、吉浜小学校区の児童クラブの定員を20名増員する。									平成29年4月																									
平成29年度	事業費（経費）		財源内訳（単位：千円）																																	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																													
		38,893	9,064	9,064	10,543	10,222																														
事業費積算内容		<ul style="list-style-type: none"> 児童クラブ業務委託料 38,893千円（うち吉浜第2児童クラブ分 3,833千円） 																																		
平成29年度	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
	第1四半期						第2四半期						第3四半期						第4四半期																	
事業実施スケジュール		事業運営 ← →																																		
予算書及び予算説明書該当ページ		157ページ																																		

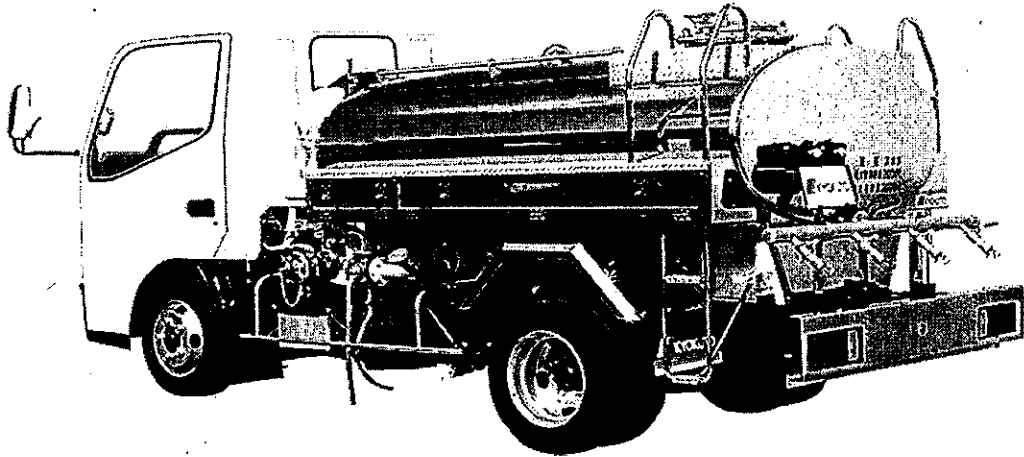
これまでの主な取組と成果

事業年度	平成 13 年度 ～ 平成 28 年度	総事業費	353,312千円			
これまでの 主な取組 と成果	<ul style="list-style-type: none"> ・市内7か所の児童クラブを運営している。公設公営の翼児童クラブ及び東海児童クラブの運営の一部をシルバー人材センターに委託している。公設民営の高取児童クラブの運営をシルバー人材センターに、楽習館児童クラブの運営をNPO法人全世代楽習塾に委託している。民設民営の中央児童クラブの運営を社会福祉協議会に、吉浜児童クラブの運営を知多学園に、ひこうきぐも児童クラブの運営を清心会に委託している。 ・平成24年度から全小学校の校庭で開始した放課後居場所事業や平成27年度より児童センター等で開始したセンターキッズ事業とも連携し、小学生の放課後等の居場所を拡充した。 					
平成28年度 (予算)	取組内容	市内7か所の児童クラブのうち、高取児童クラブ、楽習館児童クラブ、中央児童クラブ、吉浜児童クラブ、ひこうきぐも児童クラブの5クラブと翼児童クラブ及び東海児童クラブの運営の一部を民間に委託し、運営した。				
	事業費(経費)	財源内訳(単位:千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	33,705 千円	7,799	7,799		10,661	7,446
主な経費	<ul style="list-style-type: none"> ・児童クラブ業務委託料 33,705千円 (うち吉浜児童クラブ分 5,215千円) 					
平成27年度 (決算)	取組内容	市内7か所の児童クラブのうち、高取児童クラブ、楽習館児童クラブ、中央児童クラブ、吉浜児童クラブ、ひこうきぐも児童クラブの5クラブと翼児童クラブ及び東海児童クラブの運営の一部を民間に委託し、運営した。				
	事業費(経費)	財源内訳(単位:千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	31,103 千円	7,766	7,766		10,447	5,124
主な経費	<ul style="list-style-type: none"> ・児童クラブ業務委託料 31,103千円 (うち吉浜児童クラブ分 4,500千円) 					

主要・新規事業等

事業名等		水道事業会計繰出金（給水車整備事業繰出金）【新規】										
担当グループ		都市政策部上下水道グループ										
総合計画区分		基本目標 Ⅲ 明日を生み出すエネルギー やる気を活かせるまちをつくろう					個別目標 (8) ハーモニーを奏でる 快適な都市空間をつくります					
予算区分		会計 一般会計		款 04衛生費		項 01保健衛生費		目 07上水道費				
アクションプラン		<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない										
事業概要	事業の必要性・実施の背景	災害時や配水場、配水管路の事故発生時の対応として、タンクが車両一体である加圧給水車の購入を水道事業において当初予算計上をしている。給水タンクの運搬車両の確保や積み込み作業がなくなり迅速に対応ができる。また、加圧給水車であれば、学校や病院などにある受水槽にも給水が行え、より効率的に対応ができる。										
	目的 (何のために)	災害や配水事故などによる断水時において、すみやかに飲料水を運搬・供給するため。										
	対象 (誰・何を対象に)	市民										
	事業内容 (手段、手法など)	加圧給水車を購入費する。 ※購入費負担割合（一般会計1/3、水道事業2/3）										
目指す成果 (期待される効果)		応急給水の迅速な対応が出来るようになる。										
目標設定 (なるべく定量的な目標値を記入)		目標（何をどのようにする）									達成時期（いつまでに）	
		加圧給水車を配備する。									平成30年2月	
平成29年度	事業費（経費）		国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	
	5,231 千円										5,231	
事業費積算内容		加圧給水車の購入 有効内容量 1700L ベース車両2t 車両価格 15,694千円 繰出額（1/3） 5,231千円										
平成29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
事業実施スケジュール					●入札							●納車
予算書及び予算説明書該当ページ		171ページ										

イメージ写真



主要・新規事業等

事業名等		産業経済活性化事業（企業再投資促進補助）【継続】										
担当グループ		都市政策部企業支援グループ										
総合計画区分		基本目標 Ⅲ 明日を生み出すエネルギーやる気を活かせるまちをつくろう					個別目標 (6) 産業を活性化して、まちを元気にします					
予算区分		会計 一般会計		款 07商工費		項 01商工費		目 02商工業振興費				
アクションプラン		■該当する □該当しない										
事業概要	事業の必要性・実施の背景	円高やリーマンショックに端を発する景気の後退により、産業の空洞化や雇用不安の懸念が高まる中、雇用の確保や財政の安定を図るためには、産業の活性化が必要であることから、投資意欲を高めるための財政支援を行い、産業空洞化対策を図る。										
	目的（何のために）	産業空洞化に対応するため、愛知県の補助制度の受け皿となる「高浜市企業再投資促進補助金交付要綱」により、市内企業の他地域への設備投資の防止、企業の経営基盤の強化による雇用の維持拡大、税収確保による財政基盤の強化を図るため。										
	対象（誰・何を対象に）	企業再投資促進補助金は、原則20年以上、工場が高浜市内に立地する企業で、工場の新増設や新たなライン設備等を設置する法人										
	事業内容（手段、手法など）	【対象分野】 次世代自動車関連分野、他7分野 【対象要件】 投資要件：大企業25億円以上 中小企業1億円以上 雇用要件：補助金交付期間中において、以下の常用雇用者数を維持すること 大企業100人以上 中小企業25人以上 など 【対象経費】 土地を除く固定資産取得費用（建物及び償却資産） 【補助率】 大企業3%以内 中小企業6%以内（うち愛知県3%以内） 【限度額】 大企業2,500万円 中小企業5,000万円										
目指す成果（期待される効果）		企業による本市への設備投資により、企業の経営基盤の強化が図られ、雇用を維持拡大するとともに、本市の安定的な税収確保につながり、財政基盤の強化が図られる。										
目標設定（なるべく定量的な目標値を記入）		目標（何をどのようにする）									達成時期（いつまでに）	
		流出防止を図った企業に対し、経営状況、雇用状況などを確認するため、愛知県とともに企業訪問を実施し、企業の更なる経営基盤の強化、雇用の維持拡大を促す。									平成35年3月	
平成29年度	事業費（経費）		財源内訳（単位：千円）									
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源					
		110,436 千円			55,217						55,219	
事業費積算内容		平成28年度愛知県新あいち創造産業立地補助金審査会付議・採択企業（中小企業・製造業） 【投資金額】 1,840,619千円 【補助金額】 1,840,619千円×6%≒110,436千円 【歳入】 1,840,619千円×3%≒55,217千円（県支出金）										
平成29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
事業実施スケジュール		補助金申請受付支払手続き 										
予算書及び予算説明書該当ページ		187ページ										

これまでの主な取組と成果

事業年度	平成 25 年度 ～ 平成 28 年度	総事業費	171,569千円			
これまでの 主な取組 と成果	本制度を促したことにより、企業5社の設備投資に対する流出防止が図られ、約36億円の新たな設備投資、約820人の雇用の維持拡大を図ることができた。					
平成28年度 (予算)	取組内容	3社の企業の再投資計画を認定し、1社の企業の再投資に対して補助金を交付する。				
	事業費(経費)	財源内訳(単位:千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	16,770 千円		8,385			8,385
	主な経費	・企業再投資促進補助金 16,770千円				
平成27年度 (決算)	取組内容	1社の企業の再投資計画を認定し、3社の企業の再投資に対して補助金を交付した。				
	事業費(経費)	財源内訳(単位:千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	139,901 千円		69,950			69,951
	主な経費	・企業再投資促進補助金 139,901千円				

主要・新規事業等

事業名等	地方創生推進交付金事業 (コミュニティ・ビジネス創出支援業務委託等)【継続】															
担当グループ	都市政策部地域産業グループ															
総合計画区分	基本目標	Ⅲ 明日を生み出すエネルギー やる気を活かせるまちをつくらう						個別目標	(6) 産業を活性化して、 まちを元気にします							
予算区分	会計	一般会計		款	07商工費		項	01商工費		目	02商工業振興費					
アクションプラン	■該当する □該当しない															
事業概要	事業の必要性・実施の背景	必ず訪れる超高齢化や人口減少に立ち向かうためには、若年層の人口流出を是正し、市税収入や経済消費を支える生産年齢人口を維持していくことが大切である。そのためには、地域資源を活かし、産業を活性化することで、まち・ひと・しごと創出の好循環を作り出す必要がある。														
	目的(何のために)	高浜市の「働く」「モノづくり」などのいろいろなモノ・コトをヒトで繋げ、高浜市のミライ(産業の活性化や雇用の創出、まちの魅力、市民のまちに対する愛着・誇りの創出)に向かって「しごと」が「ひと」を呼び「ひと」が「しごと」を呼びこむ循環を確立する。														
	対象(誰・何を対象に)	全てのひと														
	事業内容(手段、手法など)	高校生レストランの仕掛人である岸川政之氏の支援を受け、高浜高校生8名が集まった。高校生等が、地域の課題をビジネス手法を用いて解決するコミュニティ・ビジネスにチャレンジするとともに、地域組織、企業、団体の様々な機関と連携をしながら地域の資源を活用したビジネスにチャレンジする。平成28年度に取組み内容のオリジナルたい焼き型(仮称)販売を全国のSBP実施校へ展開する。														
目指す成果(期待される効果)	地域のしごと創生(特に若い世代)に寄与するとともに、将来の高浜市を担う地方創生人材の育成(地方への人の流れ)、若者雇用対策(働き方改革)、まちの賑わい(まちづくり)の創出にも寄与する。加えて、一億総活躍社会の実現を目指すべく、高校生から始まる「希望を生み出す強い経済」の創出、「子育て支援」にもつながる。															
目標設定(なるべく定量的な目標値を記入)	目標(何をどのようにする)										達成時期(いつまでに)					
	オリジナルたい焼き型(仮称)の受注数6か所 高校生、市、関連団体の事業への取組を周知するためのテレビ出演1回										平成31年3月					
平成29年度	事業費(経費)			財源内訳(単位:千円)												
	10,790千円			国庫支出金	4,379	県支出金		地方債		その他		一般財源	6,411			
事業費積算内容	報償費	29千円	旅費	189千円	消耗品・燃料費	159千円	保険料	5千円	委託料	7,744千円	有料道路通行料	150千円	自動車借上料	1,014千円	交付金	1,500千円
平成29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期						
事業実施スケジュール	← SBP活動支援 →															
	← コミュニティビジネスチャレンジャー発掘及び個別支援 →															
予算書及び予算説明書該当ページ	187ページ															


これまでの主な取組と成果

事業年度	平成 28 年度	総事業費	24,676千円			
これまでの主な取組と成果	①高浜高校生に対してSBP（ソーシャル・ビジネス・プロジェクト）参加を呼びかけた結果、8名の高校生が集まり、地域資源を活用し、ビジネス手法を用いた活動を展開した。					
平成28年度 (予算)	取組内容	高浜高校生に対して、SBP参加を呼びかけ、8名の高校生が集まった。高校生のデザインを、地場産業である鬼師さんの技術により立体化（種型）し、同じく地場産業である自動車産業の最先端技術を用い、その種型を基に金型の製作に取り組んだ。社会起業家については、3名に対し個別支援を展開した。				
	事業費（経費）	財源内訳（単位：千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	24,676 千円	24,676				
主な経費	平成27年度繰越明許費 《商工費 18,176千円》委託料 17,176千円、庁用器具費 1,000千円 《教育費 6,500千円》委託料 6,500千円					

資 料 等（位置図等）




鬼師さんの作成した種型



全国SBP交流フェア



プレゼンの様子



種型を基にした試作品

主要・新規事業等

事業名等		建築総務事業（空家実態調査業務委託）【新規】											
担当グループ		都市政策部都市防災グループ											
総合計画区分		基本目標 Ⅲ 明日を生み出すエネルギー やる気を活かせるまちをつくろう					個別目標	(8) ハーモニーを奏でる 快適な都市空間をつくります					
予算区分		会計 一般会計		款 08土木費		項 07建築費		目 01建築総務費					
アクションプラン		<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない											
事業概要	事業の必要性・実施の背景	適切な管理が行われていない空家の存在が、防災、衛生、景観などの面から地域の生活環境に影響を及ぼしており、平成27年5月に施行された「空家等対策の推進に関する特別措置法」において、市町村の責務として「空家等対策計画」の策定に努め、空家対策に取り組むこととされた。計画の策定や具体的な対策を検討していく上で、空家の現状把握が必要となる。											
	目的（何のために）	空家の現状把握に努め、計画に基づき必要な対策を講じていくことで、市民一人ひとりが安心して暮らすことのできる生活環境を確保するため											
	対象（誰・何を対象に）	市内の建築物											
	事業内容（手段、手法など）	以下の基準に基づき、実態調査を実施する。 ①郵便受けにチラシやDMが大量につまっている。 ②窓ガラスが割れたまま、カーテンが無い、家具が無い。 ③門から玄関まで草が生えていて出入りしている様子がない。 ④売り、貸し物件の表示がある。 ⑤電気メーターが動いていない。											
目指す成果（期待される効果）		空家の現状を把握することで、市民からの相談や苦情等に対し、迅速に対応できている。また、実態調査及び計画に基づく空家対策の推進により、市内の空家が適正に管理されている。											
目標設定（なるべく定量的な目標値を記入）		目標（何をどのようにする）									達成時期（いつまでに）		
		空家の現状及び対策等を定めた「空家等対策計画」の策定									平成31年3月		
平成29年度	事業費（経費）			財源内訳（単位：千円）									
	784 千円			国庫支出金 391		県支出金		地方債		その他		一般財源 393	
事業費積算内容		・空家実態調査業務委託料 784千円											
平成29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期				
事業実施スケジュール		● 契約準備・締結			● 実態調査・地図作成								
予算書及び予算説明書該当ページ		201ページ											

主要・新規事業等

事業名等	小学校維持管理事業 (高浜小学校等整備事業設計・建設モニタリング業務委託) 【新規】													
担当グループ	教育委員会学校経営グループ													
総合計画区分	基本目標	Ⅱ 学び合い 力を合わせて豊かな未来を育もう						個別目標	(4) 学校・家庭・地域が連携を深め、12年間の学びや育ちをつなげます					
予算区分	会計	一般会計			款	10教育費		項	02小学校費		目	01学校管理費		
アクションプラン	<input checked="" type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない													
事業概要	事業の必要性・実施の背景	◇老朽化が進む公共施設の今後の建替えや大規模修繕に対応すべく、白書から見えてきた公共施設の現状と課題に基づき、今後40年間にわたる公共施設に係る費用を予測し、限られた財源・資産を有効に活用する必要がある。本事業が公共施設のあり方のモデルとなるよう、学校を核として他の公共施設の複合化・集約化を進める必要がある。												
	目的(何のために)	★将来の公共施設の更新や大規模改修に必要な費用を把握し、長寿命化や施設機能の集約等により、サービス水準を低下させずに、公共施設の総量を圧縮するため。 ★高浜小学校を多様な学習環境への対応や、地域での多目的活用を含めた変化へ柔軟に対応できる学校施設に整備するため。												
	対象(誰・何を対象に)	市民												
	事業内容(手段・手法など)	【事業内容】平成30年3月までに ◆高浜小学校の基本設計・実施設計、工事着手 (1) 教職員等を交えたワークショップの開催 (2) 基本設計、実施設計にかかる協議を事業者と行う。 (3) 工事着手 【手段・手法】 ◆高浜小学校等整備事業に係る支援業務を委託し、事業者との調整等を円滑に実施する。												
目指す成果(期待される効果)	☆公共施設総合管理計画及びこれを踏まえた長期財政計画に基づき、公共施設の計画的な更新・大規模改修等が行われ、安定的な財政運営が行われている。 ☆公共施設総合管理計画の複合化施設のモデルとなる高浜小学校の整備が実現することで、市民に今後の公共施設のあり方に対する関心が高まるとともに、問題意識が共有できている。													
目標設定(なるべく定量的な目標値を記入)	目標(何をどのようにする)										達成時期(いつまでに)			
	平成30年1月からの校舎棟の工事着工に向け、関係者との調整を図りながら、基本設計・実施設計をスケジュール通りに実施する。										平成30年3月			
平成29年度	事業費(経費)			財源内訳(単位:千円)										
	15,034 千円			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			15,034			
事業費積算内容	高浜小学校等整備事業設計・建設モニタリング業務委託料 15,034千円													
平成29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期				
事業実施スケジュール	基本設計・実施設計									建設工事(校舎棟)				
予算書及び予算説明書該当ページ	213ページ													

これまでの主な取組と成果

事業年度	平成26年度～平成28年度		総事業費	30,953千円		
これまでの主な取組と成果	<p>平成26年度は、市職員と教職員とで、各教室・諸室の必要性や他市の複合化事例を情報共有し、複合化施設の検討を行ったり、市民を交えたワークショップを開催し、情報共有や提供サービスの検討を行ったりした。平成27年度からは、事業者募集に向けた事業条件の整理作業を進め、平成28年度に事業者の選定を行った。</p>					
平成28年度 (予算)	取組内容	事業者募集を開始し、事業者説明会を実施するとともに、事業者選定委員会を設置し、事業者からの提案の評価・選定作業を進めた。そして、選定された事業者との事業契約を締結する。				
	事業費(経費)	財源内訳(単位:千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	14,213千円					14,213
主な経費	高浜小学校等整備事業支援業務委託料 14,213千円					
平成27年度 (決算)	取組内容	事業者募集を行うため、事業条件を整理し基本計画を策定するとともに、実施方針・要求水準書の作成に向けた検討を行った。				
	事業費(経費)	財源内訳(単位:千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	16,740千円					16,740
主な経費	高浜小学校等整備事業支援業務委託料 16,740千円					

主要・新規事業等

事業名等		小学校維持管理事業 (高取小学校大規模改修基本計画策定業務委託) 【新規】										
担当グループ		教育委員会学校経営グループ										
総合計画区分		基本目標 II 学び合い 力を合わせて豊かな未来を育もう					個別目標 (4) 学校・家庭・地域が連携を深め、12年間の学びや育ちをつなげます					
予算区分		会計 一般会計		款 10教育費		項 02小学校費		目 01学校管理費				
		事業名 01小学校維持管理事業										
アクションプラン		<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない										
事業概要	事業の必要性・実施の背景	高取小学校校舎は公共施設総合管理計画に基づいて平成31・32年度に大規模改修工事が予定されており、より効果的に校舎の将来の建替えまでの延命化を図るために基本計画を策定する必要がある。										
	目的 (何のために)	高取小学校校舎の外壁及び内部施設の老朽化は著しく、児童の授業等に支障を来しているため、安全かつ快適な学習環境を整備する。										
	対象 (誰・何を対象に)	高取小学校の児童及び教職員等										
	事業内容 (手段、手法など)	【事業内容】 ①校舎の現地調査 ②現行法令への適合性の確認 (建築基準法・消防法等) ③基本計画の作成 ④工事方法の検討 ⑤概算予算の算出 ⑥報告書の提出										
目指す成果 (期待される効果)		1. 外壁の補修等を図るとともに、施設内部の改修により、安全で快適な学習環境が保持できる。 2. 高取小学校校舎の劣化を抑えることにより、延命化を図ることができる。										
目標設定 (なるべく定量的な目標値を記入)		目標 (何をどのようにする)									達成時期 (いつまでに)	
		平成31・32年度に実施する大規模改修に係る工事内容及び概算予算を把握する。									平成30年3月	
平成29年度	事業費 (経費) 4,961 千円		財源内訳 (単位: 千円)									
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	4,961				
事業費積算内容	【事業費の積算内容】 ①校舎の現地調査 ②現行法令への適合性の確認 (建築基準法・消防法等) ③基本計画の作成 ④工事方法の検討 ⑤概算予算の算出 ⑥報告書の提出											
平成29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
事業実施スケジュール	<div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;"> 調査・設計・報告書作成 </div>											
予算書及び予算説明書該当ページ		213ページ										

主要・新規事業等

事業名等		中学校維持管理事業（高浜中学校外壁等改修工事）【新規】										
担当グループ		教育委員会学校経営グループ										
総合計画区分		基本目標Ⅱ 学び合い 力を合わせて豊かな未来を育もう					個別目標 (4) 学校・家庭・地域が連携を深め、12年間の学びや育ちをつなげます					
予算区分		会計 一般会計		款 10教育費			項 03中学校費		目 01学校管理費			
アクションプラン		<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない										
事業概要	事業の必要性・実施の背景	高浜中学校校舎は公共施設総合管理計画に基づいた大規模改修を平成35年度から予定しているが、老朽化の進行が加速化していることから外壁等の改修工事を前倒して実施することにより、校舎の延命化を図る必要がある。										
	目的（何のために）	高浜中学校校舎は外壁の剥落や雨漏りなど劣化が著しく、生徒の授業等に悪影響を与えているため、早急に安全かつ快適な学習環境を整備する。										
	対象（誰・何を対象に）	高浜中学校の生徒及び教職員等										
	事業内容（手段、手法など）	【事業内容】 ①平成29年度→南棟・東渡り・西渡り ②平成30年度→北棟 いずれも校舎の外壁及び屋上を補修し、防水改修・塗装改修を施す。										
目指す成果（期待される効果）		1. 外壁の剥落や天井からの雨水侵入を防ぎ、安全・快適な生徒の学習環境が保持できる。 2. 高浜中学校校舎の劣化が抑えられ、延命化を図ることができる。										
目標設定（なるべく定量的な目標値を記入）		目標（何をどのようにする）									達成時期（いつまでに）	
		校舎外壁の亀裂を修繕し、天井部分には防水処理を施す。									平成31年3月	
平成29年度	事業費（経費）		財源内訳（単位：千円）									
	53,322 千円		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源					
				47,000		6,322						
事業費積算内容		高浜中学校校舎（北棟・南棟・東渡り・西渡り） 1. 仮設工事 2. 外壁防水改修工事 3. 屋上防水改修工事 4. 塗装改修工事										
平成29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
事業実施スケジュール		<div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 改修工事(南棟・東渡り・西渡り) </div>										
予算書及び予算説明書該当ページ		219ページ										

これまでの主な取組と成果

事業年度	平成 28 年度	総事業費	11,506千円		
これまでの 主な取組 と成果	高浜中学校校舎で雨漏りが甚だしかった南棟北面と西階段の壁面について防水塗装工事を実施し、雨漏り及び外壁剥落を防ぐことができた。 また、平成29・30年度に実施する外壁等改修工事に係る実施設計業務を委託した。				
平成28年度 (予算)	取組内容	高浜中学校の南棟北面と西階段の壁面について、亀裂等を補修し、防水塗装を施工した。 平成29・30年度に実施する外壁等改修工事に係る実施設計業務を委託した。			
	事業費（経費）	財源内訳（単位：千円）			
	11,506 千円	国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源
					11,506
主な 経費	<ul style="list-style-type: none"> 高浜中学校南校舎北面・西階段防水塗装工事費 8,806千円 高浜中学校外壁等改修工事実施設計業務委託料 2,700千円 				

主要・新規事業等

事業名等		青少年ホーム管理事業（勤労青少年ホーム跡地活用支援業務委託）【継続】												
担当グループ		こども未来部文化スポーツグループ・総務部行政グループ												
総合計画区分		基本目標	I みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう				個別目標	(2) 将来を見据えた計画的・効率的な財政運営を行います						
予算区分		会計	一般会計	款	10教育費	項	05社会教育費	目	04青少年育成・活動支援費			事業名	03青少年ホーム管理事業	
アクションプラン		<input checked="" type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない												
事業概要	事業の必要性・実施の背景	平成27年度に策定した「公共施設総合管理計画」では、今後の社会情勢や景気の動向は、さらに厳しい財政状況が見込まれることを踏まえ、施設の総量圧縮により生じた未利用資産については、資産の売却や貸付などの方法について検討するとしている。勤労青少年ホームについては、機能移転や民間譲渡等を行う計画としていることから、これにより生じる跡地活用についての具体的な検討を進める必要がある。												
	目的（何のために）	機能移転を進める勤労青少年ホームの跡地について、民間活力の導入により、プール等を含むスポーツ拠点施設を整備することで、スポーツ振興及び市の財政負担を可能な限り節減を図る。												
	対象（誰・何を対象に）	市民												
	事業内容（手段、手法など）	【事業内容】平成30年3月までに ◆勤労青少年ホーム跡地活用整備事業者の選定 (1) 募集資料の作成・公表及び質問回答対応 (2) 提案事業者向け説明会の開催 (3) 事業者の評価・選定 (4) 契約締結交渉 【手段・手法】 ◆勤労青少年ホーム跡地活用整備事業者を選定するため、公募支援業務を委託し、効率的な事業推進を行う。												
目指す成果（期待される効果）	民間活力の導入による新たなスポーツ拠点を整備することにより、資産の有効活用が図れるとともに、拠点整備によるスポーツ振興や、プールを活用した新たな水泳指導の活用を進めることによる教育環境の維持・向上を図る。													
目標設定（なるべく定量的な目標値を記入）	目標（何をどのようにする）										達成時期（いつまでに）			
	市の求める事項を網羅した要項・要求水準等を整備し、適切な跡地活用事業者の選定を行う。										平成30年3月			
平成29年度	事業費（経費）		財源内訳（単位：千円）											
	8,640 千円		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源					8,640		
事業費積算内容	勤労青少年ホーム跡地活用支援業務委託料 8,640千円													
平成29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期				
事業実施スケジュール		実施方針公表		事業者募集・質問回答				選定期間						
		選定委員会①		選定委員会②			選定委員会③～⑤		契約交渉			契約締結		
予算書及び予算説明書該当ページ	229ページ													

これまでの主な取組と成果

事業年度	平成 28 年度	総事業費	6,437千円			
これまでの主な取組と成果	<p>「公共施設総合管理計画」において、施設の総量圧縮により生じた未利用資産については、資産の売却や貸付などの方法について検討するとし、勤労青少年ホームについては、機能移転等を行い、施設の跡地活用を行うとした。</p> <p>また、高浜市内の小中学校が利用できる屋内プール等を整備することで、市の財政負担を節減し、教育環境の維持・向上を図り、高浜小学校の建替えを機に、今後は学校にプールを設置するのではなく、専門の指導員による効果的な指導を受けるなど、民間のプールを活用した、新たな水泳指導のあり方の検討を進めてきた。</p>					
平成28年度 (予算)	取組内容	民間事業者への調査の結果を踏まえ、事業実施方法の検討を行い、事業実施に係る基本方針を作成を行った。また、来年度以降の事業者募集に向けた書類作成等の準備を行った。				
	事業費(経費)	財源内訳(単位:千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		6,437 千円		2,473		3,964
主な経費	勤労青少年ホーム跡地活用検討業務委託料 6,437千円					

主要・新規事業等

事業名等	文化財保護事業（市誌編さん業務委託等）【継続】												
担当グループ	こども未来部文化スポーツグループ												
総合計画区分	基本目標	Ⅱ 学び合い 力を合わせて豊かな未来を育もう						個別目標	(3) 人と学びの輪を広げ、まちのチカラを育みます				
予算区分	会計	一般会計	款	10教育費	項	05社会教育費	目	06文化財保護費					
アクションプラン	■該当する <input checked="" type="checkbox"/> 口該当しない <input type="checkbox"/>												
事業概要	事業の必要性・実施の背景	<p>「高浜市誌」が発行されてから約40年が経過し、この間、市の状況は大きく変化してきた。しかし、まちのあゆみを知ることができる貴重な資料の保存や、人々の中にある記憶を記録にとどめる作業は不十分であり、市民の共有財産である資料等の散逸・消失を防ぐことが大きな課題となっている。歴史を途切れさせることなく後世へ伝え、今を生きる私たち、そして将来のまちづくりに活かせるようにしていくことが重要である。</p> <p>現在行っている「タカハマ！まるごと宝箱」事業により、地域の歴史や文化を積極的に調査しようという人材の発掘も進み、将来に語り継いでいこうという機運が高まってきている。</p>											
	目的（何のために）	<p>まちのあゆみを知ることができる有形・無形の貴重な資料等を保存し、後世へ伝えるため。まちの歴史や人々のまちへの想い・記憶を知ることにより、まちへの愛着・誇りを高め、現在・将来のまちづくりに活かしていくため。</p>											
	対象（誰・何を対象に）	市民											
	事業内容（手段、手法など）	<p>市民と行政が協働で、高浜の歴史・伝統・産業・文化等について資料収集や調査を行う。幅広い年代が活用できるよう、わかりやすさを意識し、従来の「町誌」「市誌」「市誌資料」に収められていない市制施行以降のあゆみを重点的にまとめる。</p> <p>また、調査方法として、写真や文献といった資料を集めるだけでなく、「聞き書き」の手法を取り入れ、今を生きる人たちの記憶を記録化する取組みを進める。</p>											
目指す成果（期待される効果）	<p>まちのあゆみを知ることができる各種資料や、人々の中にあるまちの記憶の散逸・消失を防ぎ、歴史を途切れなく記録することができる。今を生きる市民や将来の市民に受け継がれ、まちづくりに役立てることができる。</p> <p>資料の掘り起こしや編集・普及活動を市民とともに行うことにより、まちづくりの原動力である「たかはま大好き」「住んでいるまちをより良くしたい」の想いを高めることができる。</p>												
目標設定（なるべく定量的な目標値を記入）	目標（何をどのようにする）										達成時期（いつまでに）		
	新しい市誌『高浜市のあゆみ』を発行する。										平成32年12月		
平成29年度	事業費（経費）			財源内訳（単位：千円）									
	14,698 千円			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			14,698		
事業費積算内容	<ul style="list-style-type: none"> 市誌編さん委員会委員報酬 105千円 賃金 2,078千円 報償費 8,721千円 費用弁償 3千円 通信運搬費 21千円 市誌編さん業務委託料 3,770千円 												
平成29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期			
事業実施スケジュール	委託契約事務		編さん委員会		編さん委員会								
	編集委員会（年3回程度開催）・専門部会（随時）												
	収録内容抽出				部会ごとの資料調査・執筆								
	資料整理												
	中間報告												
編さん過程に関する情報発信・市民への協力呼びかけ													
予算書及び予算説明書該当ページ			231ページ										

これまでの主な取組と成果

事業年度	平成 28 年度	総事業費	904千円			
これまでの主な取組と成果	1年目となる今年度は「基本方針の策定」「市誌編さん委員会の編成・開催」「編集委員会の編成」「編さん内容検討」に重点を置き、来年度から本格的に始まる調査・執筆活動に向けて、体制づくりといった準備を進めることができた。					
平成28年度(予算)	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 基本方針の策定 市誌編さん委員会の編成・開催 編集委員会の編成 編さん内容検討 様々な機会を通して、市誌編さん事業がスタートしたことを市民に周知し、資料の掘り起し・調査・執筆など、多様な協力の呼びかけを行った。 				
	事業費(経費)	財源内訳(単位:千円)				
	904 千円	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
主な経費	<ul style="list-style-type: none"> 市誌編さん委員会委員報酬 174千円 費用弁償 17千円 市誌編さん業務委託料 713千円 					

資料等(位置図等)

▲広報たかほま H29.1.1号より

主要・新規事業等

事業名等	生涯スポーツ推進事業 (高浜芳川緑地多目的広場管理運営委託等) 【新規】													
担当グループ	こども未来部文化スポーツグループ													
総合計画区分	基本目標	Ⅱ 学び合い 力を合わせて 豊かな未来を育もう						個別目標	(3) 人と学びの輪を広げ、 まちのチカラを育みます					
予算区分	会計	一般会計	款	10教育費	項	06保健体育費	目	02生涯スポーツ費						
アクションプラン	事業名 01生涯スポーツ推進事業													
事業概要	事業の必要性・実施の背景	近年、少年野球専用グラウンドの廃止や企業にお借りしていたグラウンドが利用できなくなるなど、野球やサッカーのスポーツグラウンドが不足しており、速やかに環境を整える必要がある。												
	目的 (何のために)	スポーツに対する市民ニーズに応え、スポーツを通じたコミュニティの形成や青少年の健全育成を推進するため。												
	対象 (誰・何を対象に)	市民												
	事業内容 (手段、手法など)	<p>《実施内容》7月までに高浜芳川緑地多目的広場の供用開始に向け、備品、管理体制の整備を行う。</p> <p>《手段・手法》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野球、サッカーなどにも活用できるよう必要な備品を購入、設置するとともに、適切な事業者・団体に委託し施設管理を行うことで、市民が安心・安全に利用できる施設運営を推進する。 												
	目指す成果 (期待される効果)	野球やサッカーなどのスポーツ推進、青少年の健全育成や市民の健康増進が図られる。												
目標設定 (なるべく定量的な目標値を記入)	目標 (何をどのようにする)										達成時期 (いつまでに)			
	必要な備品等も含め整備を行い、多目的広場の供用を開始する。										平成29年7月			
平成29年度	事業費(経費)			財源内訳(単位:千円)										
	4,810千円			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源						
事業費積算内容	<ul style="list-style-type: none"> ・光熱水費 194千円 ・高浜芳川緑地多目的広場管理業務委託料 699千円 ・高浜芳川緑地多目的広場備品購入費 2,642千円 ・水道加入者分担金 1,275千円 <p>※高浜芳川緑地アクセス道路整備工事費 23,000千円【都市整備グループ予算計上】</p>													
	平成29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
事業実施スケジュール	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期				
				準備(見積り合わせ等)										
				備品購入 ・管理業務委託他										
予算書及び予算説明書該当ページ			233・235ページ											

主要・新規事業等

事業名等	生活支援体制整備事業（生活支援体制整備事業委託）【新規】											
担当グループ	福祉部福祉まるごと相談グループ											
総合計画区分	基本目標	IV いつも笑顔で健やかに つながり100倍ひろげよう				個別目標	(11) 一人ひとりの元氣と 健康づくりを応援します					
予算区分	会計	介護保険特別会計	款	04地域支援事業費	項	03包括的支援事業・任意事業費	目	06生活支援体制整備事業費				
アクションプラン	事業名 01生活支援体制整備事業											
事業概要	<p>事業の必要性・実施の背景</p> <p>・介護保険法が改正され、市町村が取り組む地域支援事業が多様化・充実された。生活支援における地域住民の主体的活動を応援する仕組みが打ち出され、すべての市町村で、平成30年度までに「生活支援コーディネーター」と「協議体」の設置が求められている。 ・一億総活躍プランにおいて、高齢者、障がい者、子どもなどすべての人が、一人ひとりの暮らしと生きがいを共に創り、高め合う社会（地域共生社会）の実現が打ち出された。</p> <p>目的（何のために）</p> <p>誰もが安心して地域に住み続けることが出来るよう、地域の支え合い体制を整備し、多様な生活支援サービスを提供するため。</p> <p>対象（誰・何を対象に）</p> <p>主に65歳以上の高齢者</p> <p>事業内容（手段、手法など）</p> <p>1. 生活支援コーディネーターの配置 高齢者等の生活支援サービス等の充実に向けて、生活支援サービスの担い手の養成・発掘等の地域資源の開発やそのネットワーク化などを行う者（生活支援コーディネーター）を配置する。 【時期】平成29年4月 【場所】いきいき広場 【人数】1名</p> <p>2. 協議体の設置 各小学校区に定期的な情報共有及び連携の場（協議体）を設置する。 【構成メンバー（予定）】 生活支援コーディネーター、地域包括支援センター、社会福祉協議会、町内会、まちづくり協議会、民生児童委員協議会、ボランティア、NPOなど</p>											
目指す成果（期待される効果）	<p>・各小学校区における高齢者の支え合いの体制が充実・強化されるとともに、地域全体で多様な主体による生活支援サービスが提供されている。</p>											
目標設定（なるべく定量的な目標値を記入）	目標（何をどのようにする）										達成時期（いつまでに）	
	生活支援コーディネーターの配置 1名 協議体の設置 5か所（各小学校区）										平成29年9月	
平成29年度	事業費（経費）		財源内訳（単位：千円）									
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源					
	8,000 千円		3,120	1,560			3,320					
事業費積算内容	生活支援体制整備事業委託料 8,000千円											
平成29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
事業実施スケジュール	★生活支援コーディネーターの配置 地域資源・地域課題の把握			各小学校区に協議体を設置			★生活支援サービス担い手養成講座			★生活支援サービス担い手養成講座		
	サービス開発（協議体設置後、随時）											
予算書及び予算説明書該当ページ	389ページ											